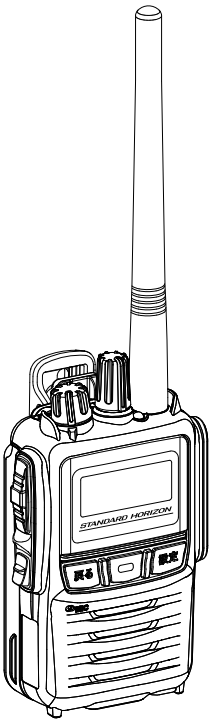
STANDARD HORIZON

一般業務用無線機

SR920V

Bluetooth®



取扱説明書

「ARIB STD-T102」準拠

お買い上げいただき、ありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。
この取扱説明書は、基本的な操作に関しての説明が記載されています。詳細な設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

この無線機は国内専用モデルです。
海外では使用できません。

目　次

構成品 **1**
オプション **1**
ご利用上の注意 **2**
購入後に初めて電源を入れたとき（Bluetooth® の設定） **3**
基本的な使いかた **4**
主なキーの説明 4
P1 キー /P2 キー **5**
便利な機能を使う **8**
① マルチチャンネル待ち受け機能 8
② CUE（キュー）機能 9
③ Bluetooth® ヘッドセットでハンズフリー運用をする 10
④ リモート PA（拡声器）機能 11
各部の名前と機能 **12**
準備 **16**
アンテナ（オプション）の取り付け 16
ベルトクリップの取り付け 16
リチウムイオンバッテリーの取り付け / 取り外し **17**
リチウムイオンバッテリー（オプション）を取り付ける 17
リチウムイオンバッテリーを取り外す 17
リチウムイオンバッテリーの充電方法 **18**
リチウムイオンバッテリーを無線機に取り付けた状態で充電する 18
リチウムイオンバッテリー単体で充電する 19
アルカリ乾電池ケースの使いかた **20**
電池の消耗について 21
通信方式について 22
簡易設定 **23**
オプションの取り付け **27**
防水性能について **27**
故障かな？と思う前に **28**
定格 **29**
安全上のご注意　～必ずお読みください～ **30**

構成品

◎ 無線機本体 1
◎ ベルトクリップ 1
◎ アクセサリーコネクタ保護カバー（無線機本体に取り付けられています）... 1
◎ 取扱説明書（本書） 1
◎ 保証書 1

不足品がある場合には、お買い上げの販売店にお申し出ください。

オプション

◎ 1200mAh 薄型リチウムイオンバッテリー..... **SBR-31LI**
◎ 1900mAh 標準型リチウムイオンバッテリー..... **SBR-33LI**
◎ 3350mAh 大容量リチウムイオンバッテリー..... **SBR-34LI**
◎ 急速充電器セット..... **SAD-3418B**
◎ 連結型充電器 **SBH-30**
◎ 連結型充電器用ＡＣアダプタ **SAD-50A**
◎ アルカリ単４形乾電池ケース **SBT-16**
◎ 防水スピーカーマイク（防浸形 IP57）..... **SSM-10C**
◎ 小型スピーカーマイク（φ 2.5mm イヤホンジャック）..... **EK-404-581**
◎ コンパクトスピーカーマイク（φ 3.5mm イヤホンジャック）..... **SSM-11C**
◎ スピーカーマイク（φ 3.5mm イヤホンジャック）..... **SSM-19C**
◎ Bluetooth® ヘッドセット..... **SSM-BT10**
◎ 小型タイピンマイク＆イヤホン（イヤホン一体型）..... **SSM-56C**
◎ 小型タイピンマイク＆イヤホン（イヤホン着脱可）..... **EK-313-581**
◎ タイピンマイク＆イヤホン（イヤホン着脱可 / 大型 PTT ボタン）... **EK-505W**
◎ 咽喉マイク＆イヤホン..... **EM-01-581**
◎ イヤホンアダプタ（φ 2.5mm イヤホンに対応）..... **EA-581**
◎ EA-581 イヤホンアダプタ対応イヤホン..... **ME101/100CM**
◎ SSM-10C 用イヤホン..... **SEP-10A**
◎ キャリングケース（SBR-31LI 対応）..... **SHC-33**
◎ キャリングケース（SBR-33LI、SBR-34LI 対応）..... **SHC-35**
◎ ラバープロテクションケース（SBR-33LI 装着時専用）..... **SHC-37**
◎ ベルトクリップ（付属品と同等）..... **SHB-21**
◎ ヘリカルアンテナ（134～151MHz、アンテナ長約 153mm）.. **SRA-22A**
◎ ヘリカルアンテナ（150～163MHz、アンテナ長約 153mm）... **SRA-22B**

リチウムイオンバッテリーはリサイクルできます。
リチウムイオンバッテリーが不要になった場合は廃棄せず、全国のリサイクル協力店、協力自治体、リサイクル協力事業者にご相談ください。

Li-ion

ご利用上の注意

● ご利用にあたって

◎ 本機はデジタル、アナログ両方の通信方式に対応しています。設定はお買い上げの販売店にご依頼ください。

◎ 本機は、技術基準適合証明を取得し、ARIB 規格に準拠していますので、他社のデジタル一般業務用無線機との互換性を確保しています。ARIB 規格以外の機能の互換性はありません。

◎ 本体背面に貼り付けてある “証明ラベル” を剥がしたり、“分解” や “改造” を行うことは、法律で禁止されています。

◎ 他人の会話を聞いて、その内容を漏らすと法律で罰せられることがあります。

◎ 本説明書は基本的な操作に関しての説明が記載されています。詳細な設定や使用方法に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

● 免責事項

◎ 取扱説明書に記載の使用方法とは異なる使用方法により発生した故障、障害、損害について、当社は一切責任を負いません。

◎ 本機を使用して生じた障害や損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いません。

● 本機に接続する外部機器に関して

◎ 本機に接続する外部機器は、必ず当社純正オプションを使用してください。

◎ 当社純正品以外のオプションを使用すると、故障や破損の原因になります。

◎ 当社純正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、弊社では一切責任を負いません。

◎ リチウムイオンバッテリーを充電する際は、必ず当社指定の充電器を使用してください。当社指定以外の充電器を使用すると、火災や故障の原因になります。

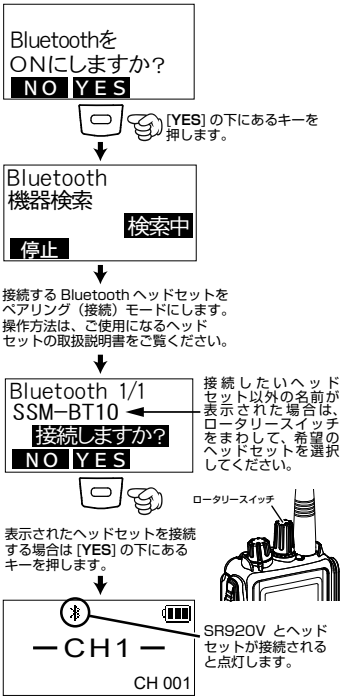
◎ 電波法により、無線機やマイクを分解・改造・指定以外の装置を接続することは禁じられています。

◎ 内部の点検・修理は、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください。

購入後に初めて電源を入れたとき（Bluetooth® の設定）

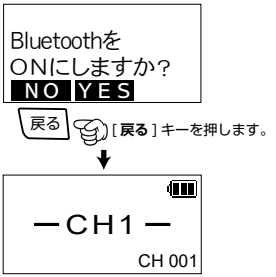
購入後に初めて電源を入れたときはBluetooth®の設定画面が表示されますので、Bluetooth®を使う方も使わない方も、始めに下記の手順で設定してください。

Bluetooth® ヘッドセットを使う場合



・次回からは、この Bluetooth® 設定画面は表示されません。SR920V とヘッドセットの電源を入れるだけで、自動で接続されます。
・送信するときはヘッドセットの送受信切り替えボタンを押します。もう一度押すと受信に戻ります。

Bluetooth® ヘッドセットを使わない場合

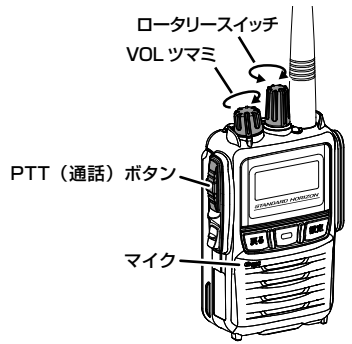


次回からはこの Bluetooth® 設定画面は表示されません。SR920V の電源を入れると上記のチャンネル番号の画面が表示されて交信を始めることができます。

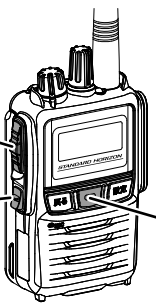
基本的な使いかた

1. **VOL** ツマミをまわして電源を入れて、相手の音声が聞きやすい音量に調節します。
2. ロータリースイッチをまわしてチャンネルをあわせます。
   信号を受信すると LED インジケータが点滅し（13 ページ参照）電波の強さに応じてディスプレイに “ ～ ” が点灯します。
3. **PTT**（通話）ボタンを押しながら、マイクに向かって話します。
   送信中は LED インジケータが “赤色” に点灯します。
   PTT（通話）ボタンを放すと、相手の話を聞くことができます。

● 電源を切るには、**VOL** ツマミをカチッというまで左にまわします



主なキーの説明



PTT（通話）ボタン
送信するときに押します

P1 キー
あらかじめプログラムされた機能のオン / オフを行います

P2 キー
あらかじめプログラムされた機能のオン / オフを行います

P1 キー /P2 キー

よく使う機能を P1 キー /P2 キーに登録しておくと、ワンタッチでアクセスすることができます。“短押し”と“長押し”で動作が異なる場合があります。

補足 機能の登録は、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください。

P1 キー /P2 キーにプログラムできる機能

機能	動作
キーロック	各キーを押しても動作しないようにするロック機能を ON/OFF します。ロックを解除するときは、キーを長押しします。
バックライト	ディスプレイやキーのバックライト（照明）が点灯または消灯します。
待受受信	マルチチャンネル待ち受け機能の有効 / 無効の設定。
待受受信 CH 設定	現在のチャンネルを待受受信対象または対象外に設定します。
リスト 1 待受受信	待ち受け受信タイプの“プログラム 1”に登録したチャンネルで待受受信を行います。
リスト 2 待受受信	待ち受け受信タイプの“プログラム 2”に登録したチャンネルで待受受信を行います。
送信出力	送信出力が 5W → 2.5W → 1W → 5W →…と切り替わります。
MUTE	ミュート（消音）機能を ON/OFF します。
VOX	音声自動送信 (VOX) 機能が有効または無効になります。
セカンダリ PTT	待受受信時、押している間セカンダリ CH に設定したチャンネルで送信します。
Monitor	キーを押している間は、デジタルモードの場合は UC コードが異なる信号の音声を聞くことができます。アナログモードの場合は信号が弱く途切れて聞こえる音声を聞きやすくします。
CUE	CUE 送信を行います。
緊急	不慮の事故などの緊急事態をアラーム音で周囲に知らせたり、緊急信号を送出して知らせることができます。
ローンワーカー	一定時間、送信（PTT）操作が行われなかった時に、緊急動作を自動的に起動します。
マンダウン	本機が一定時間傾いたままになると、緊急アラームで知らせます。
REC※	相手の音声を録音することができます。

機能	動作
PLAY※	自動で録音された最後の録音内容を再生します。
秘話	32,767 通りの秘話コードが一致する無線機どうしだけが交信することができます。
音声案内	現在のチャンネル番号を音声で読み上げます。
ワンタッチボリューム	音量ツマミをまわさずに、ワンタッチであらかじめ設定した音量にすることができます。
個別	個別通信において、宛先を先頭の個別 ID に変更します。
グループ	個別通信において、宛先を先頭のグループ ID に変更します。
ショートメッセージ	ショートメッセージの送信と受信したメッセージを表示します。
ステータス	ステータスに関する操作を行います。
リモートメニュー	指定した無線機をリモート制御することができます。
履歴表示	各種動作の履歴を表示します。
録音メモ※	録音した音声を再生します。
ARTS 情報表示	ARTS 使用時、圏内の他局情報を表示します。
メニュー	無線機の設定を行う“簡易設定”画面を呼び出します。
クイックアンサー※	あらかじめ録音されている音声を送信します。
表示変更	ディスプレイ表示を標準 → 大 → 特大 → 詳細に切り替えます。
Ch Up	次のチャンネルに移動します。
Ch down	前のチャンネルに移動します。
Ch Up Fast	キーを押している間、アップ方向に高速でチャンネルが変わります。
Ch down Fast	キーを押している間、ダウン方向に高速でチャンネルが変わります。
戻る	通常の待ち受け画面に戻ります。
Light 禁止	ディスプレイ、[戻る] キー、[設定] キーの照明および LED インジケータの点灯を ON/OFF します。
CUE ミュート	CUE を受信した時に鳴るアラームを ON/OFF します。
無効	機能無し

※ アナログモードでは動作しません。

メモ

便利な機能を使う

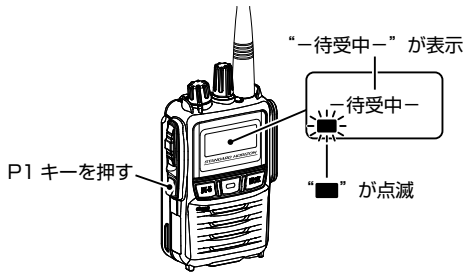
① マルチチャンネル待ち受け機能

部署やグループで異なったチャンネルを使用している状況で、チャンネルを切り替えることなく部署やグループ間の通話を簡単に行うことができます。

補足 マルチチャンネル待ち受け機能の設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

【例】P1 キーにマルチチャンネル待ち受け機能が設定されている場合

1. P1 キーを短押しすると、登録されている全てのチャンネルで信号の待ち受け受信を始めます。



2. 信号を受信した時は、受信したチャンネルで待ち受けが止まり相手の話を聞くことができます。その後、画面左下の“■”が点灯している間に PTT（通話）ボタンを押すと送信することができます。

・その受信が終るまで他のチャンネルの信号を待ち受けしません。
・待ち受け機能動作中に PTT（通話）ボタンを押して送信するチャンネルは、以下から設定できます（設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください）。
  ・待ち受け受信を開始したときのチャンネル
  ・最後に通話したときのチャンネル
  ・“指定チャンネル 1”または“指定チャンネル 2”に登録してあるチャンネル

“■”の点灯が点滅に変わると、再びマルチチャンネル待ち受け動作を開始します。

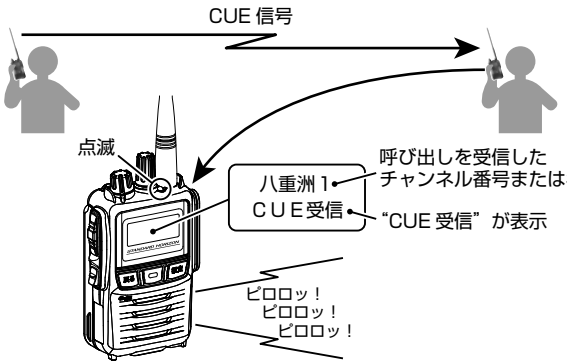
マルチチャンネル待ち受けを中止する時

待ち受け機能が動作中に P1 キーを押します。

② CUE（キュー）機能

相手の無線機のアラームを鳴らして、緊急連絡や重要な用件の通知を行うことができます。この機能は受信側の音量ボリュームに関係なく設定した音量でアラームが鳴り、同時に受信側の LED が点滅して、画面に“CUE 受信”を表示させます。
CUE を受信した時に無線機の近くにいなかった場合でも、“CUE 受信”の表示と LED ランプの点滅が継続しますので、戻った時に緊急着信があったことがわかります。

補足 CUE 機能の設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。



【例】P2 キーに CUE 機能が設定されている場合

1. P2 キーを短押しすると、相手の無線機に緊急を通知します。
   CUE を受信した後に PTT（通話）ボタンを押すと、CUE（キュー）を送信した相手のチャンネルで送信します。
   マルチチャンネル待ち受け機能が動作中に CUE（キュー）を受信すると、待ち受け動作は一時的に停止し、“CUE 受信”の表示と LED ランプが点滅します。その後 PTT（通話）スイッチを押すと、CUE（キュー）を送信した相手のチャンネルで送信します。送信が終ると、再びマルチチャンネル待ち受け動作を開始します。

P1/P2 キーに CUE ミュートの ON/OFF を設定できます。

CUE ミュート機能を割り当てたキーを押すと、CUE を受信したときのアラーム音が鳴らなくなります。LED ランプの点滅と画面の“CUE 受信”は表示されます。もう一度キーを押すと、再びアラーム音が鳴るようになります。

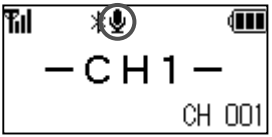
③ Bluetooth® ヘッドセットでハンズフリー運用をする

オプションの Bluetooth® ヘッドセット“SSM-BT10”を使用するとハンズフリー通信が可能です。音声で自動的に送信と受信を切り替えて通話する“音声自動送信（VOX）機能”にも対応しています。
Bluetooth® ヘッドセットを使用した通話方法は、以下の方法があります。

1. 音声自動送信（VOX）機能

話を始めると自動で送信状態になり、話をしている間は送信状態のままです。話を止めると自動で受信状態に戻ります。

側面の P1 キーまたは正面の P2 キーに、“VOX”を割り当てている場合は、それらのキーを押して音声自動送信（VOX）機能を ON にします（ディスプレイに “🎙” アイコンが点灯します）。
音声自動送信（VOX）機能を ON にすると、話すだけで送信状態になりハンズフリーで通話ができます。



2. Bluetooth® ヘッドセット "SSM-BT10" のキーで送受信を切り替える

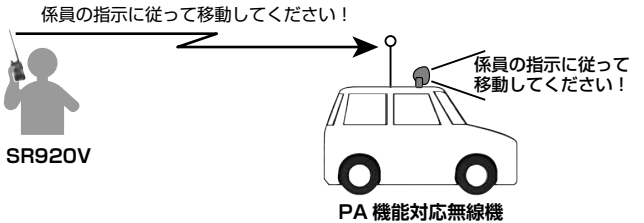
SSM-BT10 のマルチファンクションボタンを短く押すと送信状態になり、もう一度短く押すと受信状態になります。

側面の P1 キーまたは正面の P2 キーに“VOX”を割り当てている場合は、それらのキーを押して、音声自動送信（VOX）機能を OFF にします（ディスプレイに “🎙” アイコンが点灯していない状態にします）。
これで、SSM-BT10 のマルチファンクションボタンを押して、送信と受信を切り替えることができます。

④ リモート PA（拡声器）機能

離れた場所にある PA（拡声器）機能対応無線機の PA 機能を動作させて、緊急連絡や避難誘導を行えます。

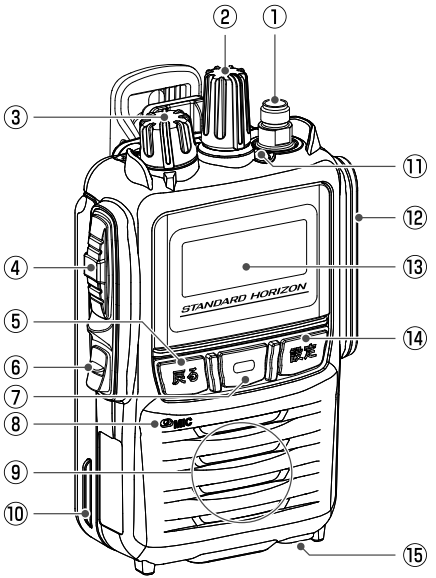
補足 リモート PA 機能の設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。



リモート PA 機能が ON のときは、ディスプレイに“リモート PA”が点灯します。
セカンダリ PTT を割り当てたキーを押すと送信状態になり、他の無線機の外部スピーカーから音声が出ます。

各部の名前と機能

本体



① アンテナコネクター

アンテナを接続します。

② ロータリースイッチ

チャンネルを選択します。
設定画面の設定項目や設定を選択します。

③ VOLツマミ

電源のON/OFFと音量の調節をします。

④ PTT（通話）ボタン

押すと送信状態になります。放すと待ち受け/受信状態になります。

⑤ 戻るキー
各種設定を行っているときに、1つ前の画面に戻ります。

⑥ P1キー（5ページ参照）
よく使う機能を登録しておくと、ワンタッチでアクセスすることができます。“短押し”と“長押し”で動作が異なる場合があります。

⑦ P2キー（▭）（5ページ参照）
よく使う機能を登録しておくと、ワンタッチでアクセスすることができます。“短押し”と“長押し”で動作が異なる場合があります。

各種設定を行っているときに短押しすると、設定を確定します。

⑧ マイク
マイクと口元の間隔は5cm位が適当で、普通の大きさの声で話します。

⑨ スピーカー

⑩ リチウムイオンバッテリー

⑪ LEDインジケータ
通信モードや状態などにより点灯または点滅します。

LED の色・状態	通信（動作）状態	
	デジタル	アナログ
緑色・点滅	通信受信中（秘話通信を除く）	通信受信中
青色・点滅	秘話通信受信中	−
赤色・点灯	送信中（秘話通信を除く）	送信中
青色・点灯	秘話通信送信中	−
赤色・点滅	バッテリーが空になったとき（LOW BATT 表示）	

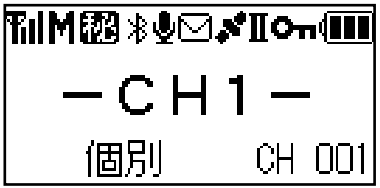
⑫ MIC/SP端子 （27ページ参照）
スピーカーマイクなどのオプションを接続します。

⑬ フルドットディスプレイ （14ページ参照）

⑭ 設定キー
プログラムソフトで設定することにより、各種の設定画面になります。設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑮ ノイズキャンセリングマイク
周囲の騒音を抑えて、明瞭な音声を送信するために設けられています。この穴は塞がないようにしてください。

フルドットディスプレイ



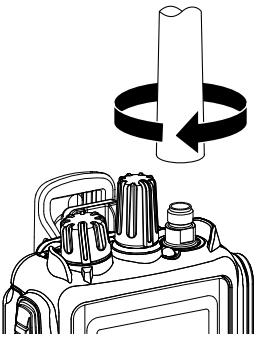
	アンテナ（電界強度表示 / 送信出力表示） 受信時：受信している電波の強さに応じて４段階で表示します。 送信時：送信出力を下記の３段階で表示します。 ：High（5W 出力） ：Mid （2.5W 出力） ：Low （1 W出力）
M L	**送信出力** 送信出力を表示します。 **非表示**： High（5W 出力）（アイコンは表示されません） **M**： Mid （2.5W 出力） **L**： Low（1 W出力）
秘	秘話 秘話通信機能が ON のときに表示します。
	Bluetooth® Bluetooth® 機能が ON（接続中）の時に点灯します。
	VOX VOX 機能が ON の時に点灯します。
	メッセージ メッセージ送信中 / 受信中に点灯します。
	GPS GPS 衛星を測位すると点灯します。未測位時は点滅します。
II	**セカンダリ PTT チャンネル** セカンダリ PTT の操作が有効な時に表示します。

	キーロック 設定されたキーやロータリースイッチがロックされているときに表示します。
	バッテリー残量 リチウムイオンバッテリーの残量を表示します。 電池マークとLEDインジケータが赤色に点滅した時は、直ちに充電を行ってください。 ：十分使えます ：まだ使えます ：残りわずかです ：空になりました ：すぐに充電してください （点滅）
	待受受信機能が動作中に PTT を押すと、その時のチャンネルに交信相手も自動で移動する機能が ON のときに表示します。
	マルチチャンネル待受機能 待受受信の対象チャンネルを選択しているときに表示します。待受受信機能が動作中は点滅します。
CH ○○○	**チャンネル番号** 設定しているチャンネル番号を表示します。
個別	**個別呼出** 個別通信の個別呼出に設定しているときに点灯します。
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	**グループ呼出** 個別通信のグループ呼出に設定しているときに点灯します。
一斉	**一斉呼出** 個別通信の一斉呼出に設定しているとき点灯します。

準備

アンテナ（オプション）の取り付け

アンテナのコネクタに近い太い部分を持ち、時計回りにしっかりと止まるまでまわします。



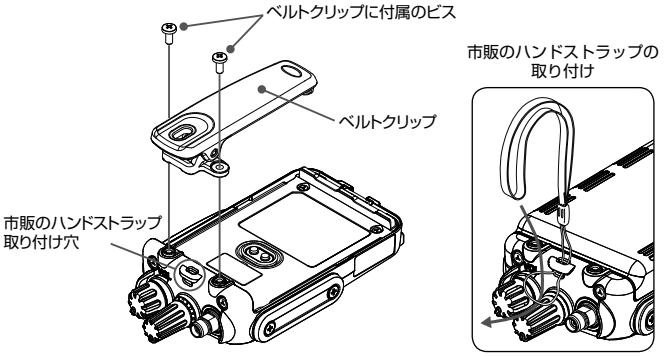
注意

・アンテナの取り付け / 取り外し時には、アンテナの上部を持ってまわさないでください。アンテナ内部で断線して故障することがあります。
・アンテナを外した状態で送信しないでください。送信回路が破損することがあります。

ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップに付属しているビス 2 本で、ベルトクリップを取り付けます。

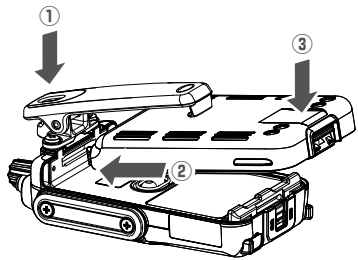
注意 ベルトクリップの取り付け / 取り外し時は、リチウムイオンバッテリーやアルカリ単 4 形乾電池ケースは外してください。

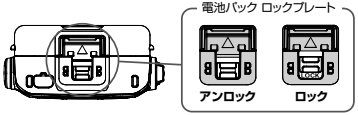


リチウムイオンバッテリーの取り付け / 取り外し

リチウムイオンバッテリー（オプション）を取り付ける

1. ベルトクリップを取り付けている場合は、ベルトクリップを上げます。
2. リチウムイオンバッテリーの底面を押しながらスライドさせます。
3. リチウムイオンバッテリーの背面を押して、「カチッ」と音がするまで確実に押します。
4. 無線機本体の底面にあるロックプレートを「カチッ」と音がするまで確実にロックの位置にスライドさせます。

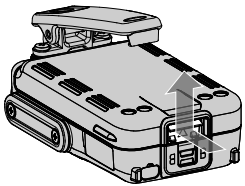




注意 ロックプレートを確実にロックしていないと、落下事故や故障の原因になります。

リチウムイオンバッテリーを取り外す

1. 無線機本体の底面にあるロックプレートを「カチッ」と音がするまでアンロックの位置にスライドさせます。
2. リチウムイオンバッテリー底面のラッチを指で摘まみながら、リチウムイオンバッテリーを引き上げます。



注意
- ロックやラッチを外す時は、指や爪などを傷めないよう、十分に注意してください。
- ベルトクリップを取り付けている場合は、ベルトクリップを上げながらリチウムイオンバッテリーを引き上げてください。
- 無線機やリチウムイオンバッテリーを落下させないよう、十分に注意してください。

リチウムイオンバッテリーの充電方法

オプションの急速充電器セット（**SAD-3418B**）を使用して、リチウムイオンバッテリーを充電します。

リチウムイオンバッテリー充電時間※

薄型リチウムイオン バッテリー **SBR-31LI**	標準型リチウムイオン バッテリー **SBR-33LI**	大容量リチウムイオン バッテリー **SBR-34LI**
約 2 時間	約 2.5 時間	約 4 時間

※リチウムイオンバッテリーを使い切った場合の充電時間の目安です。

注意　リチウムイオンバッテリーは“+5℃～+35℃”の温度範囲内で充電してください。この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱、電池の性能や寿命を低下させる原因になります。

補足　リチウムイオンバッテリーをお買い上げいただいたとき、または長い間使用しなかったときは、充電してからお使いください。

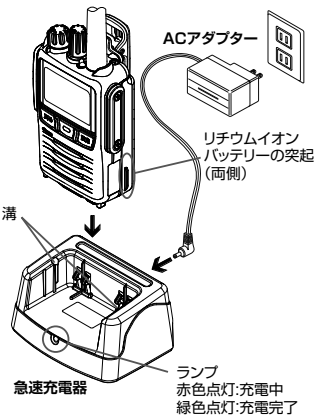
リチウムイオンバッテリーを無線機に取り付けた状態で充電する

1. 急速充電器セット（**SAD-3418B**）の充電器と AC アダプターを接続します（右図参照）。
2. 無線機の電源を切って急速充電器に挿し込みます。急速充電器の赤色のランプが点灯し、充電を開始します。

補足　リチウムイオンバッテリーの突起を急速充電器の内側の溝にあわせて差し込みます。

3. 充電が完了するとランプは赤色から緑色に変わります。

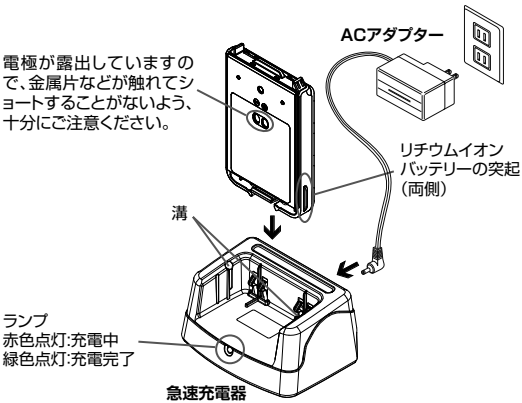
注意　長時間充電したままにしておくと、リチウムイオンバッテリーを劣化させることがあります。



4. 充電が完了したら無線機を急速充電器から取り外し、AC アダプターをコンセントから外してください。

リチウムイオンバッテリー単体で充電する

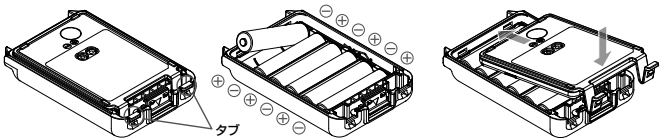
○ リチウムイオンバッテリーの突起を急速充電器の内側の溝にあわせて挿し込みます。急速充電器の赤色のランプが点灯し、充電を開始します。
○ 充電が完了するとランプは赤色から緑色に変わります。



アルカリ乾電池ケースの使いかた

オプションのアルカリ乾電池ケース（**SBT-16**）を使うと、単４形アルカリ乾電池６本を無線機の電源として使用できます。

1. 乾電池ケース裏側のフタのタブを押して、フタを開けます。
2. 電池の極性に注意して、単４形アルカリ乾電池６本を乾電池ケースに入れます。
3. フタの突起を乾電池ケース上部の穴に入るように押し当てます。
4. フタの下部を押して、“カチッ”と音がして両方のタブがロックするまで押します。



注意　アルカリ乾電池ケース（**SBT-16**）を使用している場合、送信出力は自動的に Low（1W）に固定され、送信出力を変更することはできません。

補足
- マンガン乾電池や充電式の単４形電池は使用できません。
- 新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。乾電池が漏液、発熱、破裂するおそれがあります。
- 長時間本機を使用しない場合は、乾電池ケースから乾電池を取り外してください。
- 乾電池ケースの端子や電極が汚れていると、接触不良で本機が正しく動作しなくなったり、発熱や破裂などの原因となります。端子や電極が汚れた場合は、乾いた布や綿棒で清掃してください。

電池の消耗について

電池が消耗すると、ディスプレイの電池マーク（電池残量表示）が右記のように変化します。

十分使えます

まだ使えます

残りわずかです

空になりました

すぐに充電してください

ローバッテリーアラート機能

電池が空になると電池マークが点滅し LED インジケータが赤色に点滅します。その時は直ちに充電を行ってください。

電池持続時間※

リチウムイオンバッテリー / アルカリ乾電池ケース	送信出力		
	High（5W）	Mid（2.5W）	Low（1W）
薄型リチウムイオンバッテリー **SBR-31LI**（1200mAh）	約 9 時間	約 12 時間	約 15 時間
標準型リチウムイオンバッテリー **SBR-33LI**（1900mAh）	約 16 時間	約 21 時間	約 26 時間
大容量リチウムイオンバッテリー **SBR-34LI**（3350mAh）	約 27 時間	約 36 時間	約 44 時間
アルカリ乾電池ケース **SBT-16**	―	―	約 6 時間

※ 電池持続時間は、送信（5W）:受信:待受＝ 5:5:90 の割合で運用時（バッテリーセーブ機能オン、GPS オフ、Bluetooth® 機能オフ）

※ 使用条件や周囲の温度により、使用できる時間が異なることがあります。特に寒冷地では使用時間が短くなります。

※ アルカリ乾電池の製造元や種類によって、使用できる時間が大きく異なることがあります。

通信方式について

SR920V は「UC(ユーザーコード) 通信」と「個別通信」の二通りの通信方式に対応しています。

補足 通信方式の設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

UC（ユーザーコード）通信

ＵＣ通信は同じチャンネルにあわせている局で、かつＵＣ（ユーザーコード）を設定している局同士だけが通話することができる通信方式です。
ユーザーコードは数字２桁で、“00”～“63”の中から設定できます。

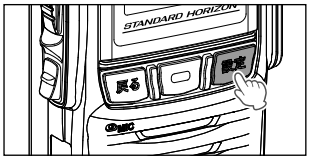
補足 ユーザーコード“00”は、共通ユーザーコードとして扱われ、受信時はコードが異なる信号も受信できますが、送信時は“00”を設定している相手としか通信することができません。

個別通信

個別通信では特定の相手だけを呼び出すことや特定のグループに属する全員を呼び出す、また、全ての局を一斉に呼び出して通話をすることができます。

簡易設定

チャンネル表示中に [設定] キーを押すと簡易設定画面が表示され、無線機の動作に関する各種の設定ができます。



補足 簡易設定を使用するためには、販売店での設定が必要です。設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

項 目	機 能
オーディオ設定	
ビープ設定	電源を入れたときやキーやロータリースイッチをまわしたときなどに鳴るビープ音の音量を設定します。
マイク感度	無線機に内蔵しているマイクや MIC/SP 端子に接続した外部マイクの感度を調節します。
イコライザー	送信音 / 受信音を好みの音質に変更できます。
スケルチ※1	信号がない時のノイズを消すスケルチ機能のレベルを設定します。
ノイズキャンセル	明瞭な音声を送信するノイズキャンセル機能の動作を設定します。
オーディオ出力	受信音やビープ音の音量を、出力先（本体 / スピーカマイク / イヤホン）にあわせて、最適になるように切り替えます。
CUE スピーカー	CUE 受信時に使用するスピーカーを選択します。
ワンタッチ VOL	キーを押すだけで、音量ツマミをまわさずにワンタッチで音量を一時的に変更できます。
通知設定	
TX ビープ	自局の送信開始時に鳴るビープ音を ON/OFF します。
RX ビープ	相手局の送信終了を知らせるビープ音を ON/OFF します。
弱電界アラーム	受信信号が微弱になったことを知らせる弱電界アラームを ON/OFF します。
電池アラーム	バッテリーが少なくなったことを知らせるアラーム機能を ON/OFF します。
CH ガイダンス	電源を ON にしたときやチャンネルを変更した時に、チャンネル番号を音声で案内する機能を ON/OFF します。

項 目	機 能
不在着信ベル	相手からの個別呼び出しを受けた後に応答しなかった場合にベル（電子音）を鳴らします。
UC ベル	UC 通信で運用中に、UC（ユーザーコード）が同じ相手局から呼び出しを受けた時にベル音を鳴らします。
個別ベル	個別呼び出しを知らせるベル音の鳴る回数を設定します。
グループベル	グループ呼び出しを知らせるベル音の鳴る回数を設定します。
表示設定	
ライト禁止	ディスプレイとキーの照明および LED インジケータの点灯を ON/OFF します。
コントラスト	ディスプレイのコントラストを調節します。
ディマー	ディスプレイとキーのバックライトの明るさを調節します。
メイン文字サイズ	チャンネル表示画面の文字の大きさや表示内容を設定します。
音声自動送信（VOX）	
VOX 動作	音声で送信と受信を切り換える“音声自動送信 (VOX) 機能”を ON/OFF します。
VOX 感度	音声自動送信 (VOX) の感度を設定します。
セミ VOX	音声自動送信 (VOX) 機能が ON のときに、周囲の騒音などで不用意に送信しないようにできます。自動で送信状態にはならずに、PTT（通話）ボタンを押すと送信状態になり、話をしている間は PTT（通話）ボタンを放しても送信を続け、話を止めると自動で待ち受け状態に戻る機能を ON/OFF します。
VOX 送信保持時間	VOX 送信状態から受信状態に戻るまでの遅延時間を設定します。
待受受信	
待受受信動作	ＵＣコードが一致する信号を待ち受けします。
待受受信タイプ	待受受信機能動作時の待受受信方式を設定します。
待受受信 CH	待受受信タイプの“プログラム 1”および“プログラム 2”のそれぞれに、待受受信したいチャンネルを登録します。
待受受信 PTT	待受受信機能動作中の PTT ボタン操作時に送信するチャンネルを設定します。
待受受信 RX	待受受信動作後に、信号を受信して待受受信が停止した後の待受受信再開条件を設定します。
待受受信指定 CH1	待受受信での指定チャンネル 1 のチャンネルを設定します。
待受受信指定 CH2	待受受信での指定チャンネル 2 のチャンネルを設定します。

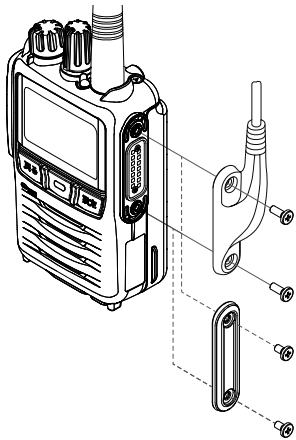
項 目	機 能
Bluetooth	
機能	Bluetooth® 機能を ON/OFF します。
機器検索	Bluetooth® ヘッドセットを検索して接続します。
登録機器一覧	登録済の Bluetooth® ヘッドセットを接続します。
登録機器削除	登録済の Bluetooth® ヘッドセットを削除します。
マイク感度	Bluetooth® のマイク感度を調節します。
初期化	Bluetooth® の設定だけを初期化します。
通信設定	
自局 ID	個別通信時の自局 ID を設定します
ユーザーコード	ユーザーコードを設定します。
宛先設定	個別通信で応答待ち時間が経過して、待機状態に戻る際の、呼び出し先表示の条件設定。
クイックアンサー	あらかじめ録音した「了解しました。後程応答します。」などのメッセージを送信できます。
アンサーバック	宛先 ID の相手局と通信が可能かどうかを確認できます。
メッセージ	受信したメッセージの履歴を表示します。
ステータス	あらかじめ設定してある簡易メッセージを送信したりメッセージを確認したりします。
リモート制御	指定した無線機をリモート制御できます。
通話タイマー	相手が応答するまでの応答待ち時間（通話タイマー）を設定します。
送信出力	送信出力を設定します。
ARTS	定期的に発信される他の局からの情報を受信し、交信圏内圏外の表示を行います。
コールモード	個別通信時に呼び出しを行う際、相手が通信圏内であるかどうかを確認します。
リモート PA	離れた場所にある PA（拡声器）機能対応無線機の PA 機能を動作させます。
履歴	
リピート再生※2	自動で録音した音声を再生します。
録音メモ※2	録音した音声を再生します。
発信履歴	送信した宛先 ID の履歴を表示します。
着信履歴	受信した宛先 ID の履歴を表示します。
メッセージ受信履歴	受信したメッセージの履歴を表示します。
ステータス受信履歴	受信した簡易メッセージの履歴を表示します。
履歴リセット	発信、着信、メッセージ、ステータス履歴の消去。

項 目	機 能
操作設定	
キーロック	キーロック時にロックするキーやロータリースイッチを選択できます。
PTT ホールド	PTT（通話）ボタンの動作を、一度押して放しても送信状態を保持して、もう一度押すと待ち受けに戻る動作に変更できます。
セカンダリ PTT	PTT（通話）ボタン以外のキー操作で、あらかじめ設定したチャンネルで送信できます。
セカンダリ PTT 固定 CH	セカンダリ PTT の設定が“待受 / 固定 CH 送信”または“固定 CH 送信”の時に送信するチャンネルを設定します。
自動電源 OFF	設定した時間何も操作しないと、電源の切り忘れとみなして自動的に電源を OFF にします。
GPS 設定	
GPS 送信※2	GPS 信号から得た位置情報を送信します。
緊急設定	
緊急モード	緊急、ローンワーカー、マンダウンが動作した時の緊急動作を設定します。
ローンワーカー	一定時間送信（PTT）操作が行われなかった時に、緊急動作を自動的に起動します。
マンダウン	本機が一定時間傾いたままになると、緊急アラームで知らせます。
その他設定	
バッテリーセーブ	待ち受け状態でのバッテリー消耗を減らすバッテリーセーブ（間欠受信）機能の ON/OFF を設定します。
ACC 電源	側面の MIC/SP 端子に接続したオプションに供給する電源（5V）を ON/OFF します。
インフォメーション	
自局情報	自局のユーザーコード、自局 ID を表示します。GPS 使用時は [選択] キーで自局の位置情報を表示します。
無線機情報	現在設定しているチャンネルの周波数を表示します。
機器情報	無線機のシリアル番号と周波数帯域を表示します。
初期化	
Mandown0 度設定	マンダウン機能動作時の、基準となる 0 度を設定できます。
履歴リセット	着信履歴、発信履歴、メッセージ履歴を消去します。
設定リセット	無線機のすべての設定を初期化します。

※ 1：デジタルモードでは動作しません。
※ 2：アナログモードでは動作しません。

オプションの取り付け

1. ネジを外して MIC/SP 端子のアクセサリーコネクタ保護カバーを取り外します。
2. オプションに付属のネジを使って、オプションを取り付けます。



注意 オプション類は、無線機の電源を切った状態で取り付けてください。

補足
- 取り外したアクセサリーコネクタ保護カバーとネジは、必ず保管しておいてください。
- MIC/SP 端子やオプションのコネクタの端子を、時々乾いた布や綿棒で拭いてください。端子が汚れると接触不良により、正常に使用できません。
- オプション類を接続しないときは、MIC/SP 端子にアクセサリーコネクタ保護カバーを取り付けておいてください。

防水性能について

本機は、IEC 国際規格 IP68 相当 (防塵等級 6※1、防水等級 8※2) の防塵、防水性能を有しています。この性能を末永く確保していただくために、必ず、ご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

◎ キーやボタンのラバー、MIC/SP 端子のアクセサリーコネクタ保護カバー、リチウムイオンバッテリー接合部分などに、キズ、劣化、汚れがないか確認してください。
◎ 海水砂泥などが付いたときは、ケースが損傷していないことを確認した上で、真水の溜め水で濯ぎ、すぐに乾いた布で拭き取ってください。
◎ 本機の汚れを落とす際に、蛇口からの水を直接当てたり、高圧の洗浄機やエアダスターを使用したり、スチーム洗浄をおこなったりしないでください。
◎ 本機は、水中での使用はできません。

※1：粉塵が内部に侵入しない。
※2：水深 1.5m に 30 分間没しても有害な影響を受けないこと。

故障かな?と思う前に

間違った操作をしていませんか？修理を依頼される前にお確かめください。

◎ 電源が入らない！
- リチウムイオンバッテリーが消耗していませんか？
  ➠ リチウムイオンバッテリーを充電してください。
- リチウムイオンバッテリーの端子が接触不良になっていませんか？
  ➠ 端子を乾いた布で拭いてください。
- リチウムイオンバッテリーが古くなっていませんか？
  ➠ リチウムイオンバッテリーの寿命です。新しいリチウムイオンバッテリーとお取り替えください。

◎ 送信できない！
- **PTT**（通話）ボタンを正しく押していますか？
- **PTT**（通話）ボタンがロックされていませんか？

◎ 音がでない！
- 消音（ミュート）機能が「ON」になっていませんか？

◎ 通話できない！
- 相手局と同じチャンネルに設定していますか？
- 相手局との距離が離れすぎていませんか？
- 相手局と同じ通信方式に設定していますか？
  ➠ デジタル通信方式とアナログ通信方式では交信できません。
- UC（ユーザーコード）は正しく設定されていますか？
- 個別通信の場合、宛先 ID/ グループ ID があっていますか？
- 秘話通信機能が動作していませんか？
  ➠ ●デジタルモードの場合
  お互いの秘話コードが一致していないと、秘話通信による通話をすることはできません。
  ➠ ●アナログモードの場合
  お互いに秘話通信機能を動作させ、更に秘話コードが一致していないと、秘話通信による通話をすることはできません。

◎ キー操作ができない！
- ディスプレイに “” が表示されていませんか？
  ➠ ロック解除の操作を行い、ディスプレイに “” が表示されていない状態にしてください。

定格

送受信周波数： 142.0000MHz ～ 162.0375MHz
電波型式： F1C/F1D/F1E/F1F（デジタル）
F2D/F3E（アナログ）
変調方式： 4 値 FSK(デジタル)、可変リアクタンス周波数変調(アナログ)
通信方式： 単信プレストーク式
送信出力： 5W/2.5W/1W
電池持続時間： 1900mAh リチウムイオンバッテリー（SBR-33LI）
（5W 出力、送信：受信：待受＝ 5：5：90 の割合）
セーブ機能 ON 時：約 16 時間
セーブ機能 OFF 時：約 11 時間
受信感度： －2dB μ V 以下（BER=1%）（デジタル）
－6dB μ V 以下（12dB SINAD）（アナログ）
低周波出力： 800mW 以上（10% 歪時）
動作温度範囲： 温度 －20℃～ +60℃
湿度 95%（35℃）
定格電圧： DC7.4V ± 10%
本体寸法： 幅 55.8mm ×高さ 91.5mm ×奥行き 29.4mm
（SBR-33LI 装着時、アンテナおよび突起部を含まず）
本体重量： 約 250g
(SBR-33LI、アンテナ、アクセサリーコネクタ保護カバーを含む)

Bluetooth® のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、八重洲無線株式会社はライセンスに基づいて使用しています。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form.
U.S. Pat. Nos. #5,870,405, #5,826,222, #5,754,974, #5,701,390, #5,715,365, #5,649,050, #5,630,011, #5,581,656, #5,517,511, #5,491,772, #5,247,579, #5,226,084 and #5,195,166.

安全上のご注意　～必ずお読みください～

本機を安全に正しくお使いいただくために、次のことに十分ご注意ください。

危険　誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告　誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています

注意　誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています

行ってはならない禁止事項です（例 分解禁止）。

必ず守っていただきたい注意事項です。

危険

自動車を運転しながら交信や操作をしない
事故の原因になるだけでなく、道路交通法違反になります。
運転者が使用するときには、車を安全な場所に止めてからご使用ください。

航空機内や病院内などの“使用を禁止された区域”では電源を切る
電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります。

引火性ガスの発生する場所や高所などの危険な場所で使用しない
発火事故や落下事故などの原因になります。

電池が漏液して皮膚に付着したり、目に入ると危険
化学火傷を起こすおそれがあります。直ちに医者の診断を受けてください。

電源端子やリチウムイオンバッテリーの端子にはんだ付けやショートをしない
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運ばないでください。

リチウムイオンバッテリーを火のそばや、炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。

電池が漏液して皮膚に付着したり、目に入ると危険
化学火傷を起こすおそれがあります。直ちに医者の診断を受けてください。

警告

分解や改造をしない
本機は電波法に基づく無線局で使用する通信機器です。
分解や改造は違法ですのでおやめください。また、ケガ等の事故や故障の原因になります。

本機は、“IP68 相当”の防塵・防浸構造になっておりますが、特に海水などがついたときは真水で洗い流し、乾いた布などで拭きとる
性能や寿命を低下させる原因になります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカー装着者は使用しない
本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

当社指定以外の充電器を使用しない
火災や故障の原因になります。

煙が出ている、変な臭いがするときは電源スイッチを切って、リチウムイオンバッテリーを外す
火災や故障の原因になります。お買い上げいただきました販売店にご相談の上、修理を依頼してください。

心臓ペースメーカー装着者に配慮し、人ごみでは電源を切る
本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

⚠ 注意

指定以外のオプションを使用しない
ケガの原因になります。
また、本体の故障や破損の原因にもなります。

強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない
故障の原因になります。

リチウムイオンバッテリーを指定の充電器で充電するときの温度範囲は 5℃～ 35℃です
これ以外の温度での充電は、故障の原因になります。

磁気カードなどを無線機に近づけない
キャッシュカードなどの内容が消去されることがあります。

無線機を直射日光の当たる場所や熱器具の近くに放置しない
変形や変色等の原因になります。

シンナーやベンジンなどでケースを拭かない
変形や変色等の原因になります。
ケースが汚れた場合には、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

メモ

STANDARD HORIZON

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがご購入いただいた販売店または、下記までご相談ください。

取扱説明書の記載内容を予告無く変更する場合があります。
詳しくは下記の URL をご覧ください。

八重洲無線株式会社
〒 140-0013 東京都品川区南大井 6-26-3 大森ベルポート D-3F
電話：03-6404-6525
URL：https://connect.yaesu.com

E N 0 0 8 N 0 2 1

2009E-BC-1
Printed in China